

Architectural Workshop TODAJI 2020

この情勢の先にある
「時代の輝き」に希望を重ねて

今から1285年前、奈良時代（735～37年）に九州にはじめて発生した天平の疫病（天然痘）は全国に広がり、首都であった平城京でも多くの感染者を生み出した。わが国ではじめて起こった大きなパンデミックにより、当時の日本の総人口の約30%にあたる100～150万人が亡くなったと伝えられています。当時の聖武天皇は、「動植咸く栄えんことを欲す」という詔の言葉にあるように、人間だけではなく動物や植物も共に栄え復興することを願って、盧舎那大仏（るしゃなだいぶつ）の造頭を進められました。

単に天皇が一方的に民衆に課した事業としてではなく、人々の平安への祈りを未来に継ぎ続けるための集大成としての「大仏」であってほしいという願いもあったのでしょう。民衆も私財を捧げ、全国から日本人口の約半数にあたる人々が集まり、自発的な労力奉仕も交えて盧舎那大仏と大仏殿は完成しました。事態以降に社会へ出、次世代の先頭となる私たち参加学生が、この情勢の先にある時代の輝きに重なるような基点となる開催になりますよう、備えを保ち適切に努めてまいります。AAF運営学生一同

※写真「東大寺提供」

国内初のブリックタワー賞授賞式の聖地に於いて
建築学生ワークショップ東大寺

AAF
Art & Architect Festa

新型コロナウイルス感染予防対策の上
開催(当初の予定より3週間延期)

公開プレゼンテーション 9.20 | 建築学生ワークショップ東大寺
計画地：東大寺境内 会場：東大寺 大仏殿 北側 奈良市雑司町 406-1

建築学生ワークショップ東大寺2020 公開プレゼンテーション観覧者募集 | 2020年9月20日(日) 09:20-18:00 | 東大寺大仏殿
交通：近鉄奈良線「奈良駅」より徒歩約20分 | 参加費：無料(但し拝観料要) | 申込：要 | <https://ws.aaf.ac> | 定員：300名(事前申込制)

ArchitecturalWorkshop Todaiji 2020

建築学生ワークショップ東大寺2020 公開プレゼンテーション

9.20^日 08:00 開場 (受付開始)
09:20-18:00

| 場所 | 東大寺 大仏殿 北側 〒630-8587 奈良県奈良市雑司町 406-1

| 参加費 | 無料 (但し 拝観料要) | 定員 | 300 名 (事前申込制・当日会場にて先着順席選択)

| 申込方法 | 【要申込み】ウェブサイトよりお申込みください

「建築学生ワークショップ」で検索、もしくは <https://ws.aaf.ac>

- *1 お申込みいただきましたら、受付番号をお送りさせていただきます。会場受付にてご提示ください。
- *2 当日のご参加も若干名様まで受付けております。
- *3 大仏殿入口にて拝観料 (大人 600 円・子供 300 円) をお支払い後入堂。
ご参拝後に東廊沿い・大仏殿北側仮設「公開プレゼンテーション会場」受付へお越しください。

開催概要

場所のもつ歴史や意味、地形や風の流れといった文脈を読むことを始点として建築はつくられていきます。つまり建築をするという行為の原点には、「場」を読み解く力こそが始まりであり、最も重要なプロセスのひとつだといえます。奈良県奈良市にある東大寺は、奈良時代には「六宗兼学」、平安時代を経て「八宗兼学」といわれた学問寺。そこで学ぶことは、建築の道を歩み始めた次の日本を背負う学生にとって大切なことであり、これから建築をつくる揺るぎない基軸となっていでしょう。

全国の大学生たちが小さな建築を東大寺に 8 体実現

全国の大学生が制作に 1 週間滞在。"今、建築の、原初の、聖地から" 我が国を代表する聖地において空間を提案します。東大寺に、全国から建築を学ぶ大学生が集まり、受け継がれてきた歴史を現代の問題とともに未来へとつなげていくために、「今、学問の、原初の、聖地から」伝えていくべきことを、それぞれが真剣に考え、原寸大の空間として表現し、訪れた人が中に入り空間を体験することができる小さな建築空間を 1 日だけ創出します。

参加学生

- | | |
|--|---|
| 1 班 越智 悠 (大阪大学大学院 修士 2 年)
李 宗立 (東京都立大学 4 年)
三浦 凜 (京都府立大学 2 年)
沼口 佳代 (鹿児島大学 2 年) | 5 班 安田 樹 (東京大学 修士 1 年)
保阪 日南子 (三重大学 2 年)
大内 麗 (鹿児島大学 2 年) |
| 2 班 岩田 采子 (東京理科大学大学院 修士 1 年)
鈴木 正義 (武蔵野美術大学 3 年)
彦谷 俊太 (京都工芸繊維大学 2 年) | 6 班 齋藤 匠 (東京理科大学大学院 修士 2 年)
天野 萌絵 (金沢大学 3 年)
衣笠 恭平 (京都工芸繊維大学 1 年) |
| 3 班 小野 倫太郎 (明治大学 3 年)
佐久間 実季 (奈良女子大学 3 年)
中山 亘 (九州大学 2 年) | 7 班 舟津 翔太 (北九州市立大学 3 年)
岩屋 百花 (関東学院大学 3 年)
新谷 朋也 (近畿大学 2 年) |
| 4 班 加藤 駿一 (名城大学大学院 修士 1 年)
佐藤 蒼羅 (武蔵野美術大学 3 年)
平松 那奈子 (京都大学 2 年) | 8 班 佐伯 直彦 (東京大学 3 年)
亀山 拓海 (大阪工業大学 3 年)
清水 万紀子 (北九州市立大学 3 年) |

AAF 運営スタッフ

統括: 宮本 勇哉 (神戸芸術工科大学 4 年) / 副統括: 山本 康揮 (大阪工業大学 4 年)
司会進行 (正): 久保 瑞季 (武庫川女子大学 4 年) / 司会進行 (副): 池田 怜 (武庫川女子大学 4 年)
総合長: 原之園 健作 (大阪市立大学大学院 修士 2 年) / 副総合長: 貢 駿登 (大阪工業大学 3 年)

参加予定講師

建築・美術両分野を代表する評論家をはじめ、第一線で活躍をされている建築家や世界の建築構造研究を担い教鞭を執られているストラクチャー・エンジニアによる講評。また、近畿二府四県の大学で教鞭を執られ、日本を代表されるプロフェッサー・アーキテクト等にご講評をいただきます。



| お問い合わせ | 特定非営利活動法人 (NPO法人) アートアンドアーキテクトフェスタ | ウェブ www.aaf.ac | Eメール info@aaf.ac

予定プログラム ※9:20-18:00 境内・計画地にて作品視察 (各自)

- 08:00 開場 (受付開始)
- 09:20 開始・開催の挨拶・予定説明
- 09:30 計画地案内
- 13:00 第一部 発表・講評 (4 グループ × 20 分)
- 14:20 休憩
- 15:00 第二部 発表・講評 (4 グループ × 20 分)
- 16:20 公開審査、質疑応答
- 17:00 結果発表、総評、表彰式
- 18:00 閉会



2019年出賞作品 作品視察の様子 2019年出賞開催 公開プレゼンテーションの様子